

高度産業科学技術研究所 望月孝晏特任教授
応用物理学会フェロー称号を授与される

高度産業科学技術研究所 松井真二

2011年8月30日付けで、高度産業科学技術研究所 望月孝晏 特任教授は応用物理学会フェロー表彰を受け、フェローの称号を授与されました。

応用物理学会のフェロー表彰は、学術・研究における業績、産業技術の開発・育成における業績、教育・公益活動を通じた人材育成や教育における業績などにより、応用物理学の発展に貢献した会員に対し、特に貢献が顕著である会員を表彰するものです。フェロー表彰を受けた会員は、応用物理学発展のための一層の活躍が期待されています。

望月特任教授の表彰タイトルは、「レーザー生成プラズマX線源の物理とその実用化研究」です。この研究のそもそもの始まりは、先生が大阪大学で激光XII号レーザーの集光装置建設を推進したおり、プラズマ物理実験も重要と研究を始めたものです。レーザー生成プラズマX線源は、実用化が目前の極端紫外光リソグラフィ用光源の本命として開発が急ピッチで進められています。また、最近では本学工学研究科の松尾教授と共同研究を進めてきた、軟X線シリコン結晶化への適用も、フレキシブルディスプレイへの道を開くものであり、今後ともますます活躍されることを確信して、本表彰のお祝いと致します。

